

ピンビープロジェクト・セカンドシーズン!

F-ROAD SUPER-BEETLE PROJECT 2nd SEASON

レース仕様から 街乗り仕様へ!



アイドラーズ12時間耐久レースをクラス4位という好成績で終えた我らがピンビー。まずは当初の目標をクリアしたということで、今月からはセカンドシーズンに突入する。10月初旬に控えたVWレース「Y's CUP」を見据えつつ、しばらくは街乗りを楽しむ仕様に変更してみよう。

文●半谷範一 撮影●森口信之

取材協力●ベストインポートサービス TEL:048-282-6119 <http://www.vw-bis.co.jp>

スピードジャパン TEL:03-3555-8865 <http://www.speedjapan.co.jp/>

日栄自動車商会 TEL:024-534-9680 <http://auto.jocar.jp/nichiei/>



Photo/Masatake Ishiko

これがスタッフ全員で勝ち取ったクラス4位の証。



さすがに12時間走りきった車両はタイヤのカス跡だらけで全身真っ黒。セカンドシーズン突入の前に、まずはスタッフみんなで綺麗にしておきます。



**次のレース参戦まで
しばらくは街乗りを楽しみます**

ぶっつけ本番に近いような状況ながら、アイドラーズの12時間+9分という長丁場を走り切ってくれたピンビー。しばらくレースに参加する予定がないので、街乗りが楽しめる仕様へとモディファイすることにしました。今のままじゃ、シートはフルバケが一脚だけですし、街乗りで使うにはかなり使い勝手が悪いからです。

というわけで、まずはレースで汚れてしまったピンビーを皆で綺麗にしてあげることにしました。サーキットを走るとタイヤの溝が凄いですからね。リアフェンダーの汚れや飛び石の傷を見ると、ランニングボード(ボディの側面にあるサイドステップのようなパーツ)が決して飾りではないということが分かります。

その後、油脂類やパッドといった消耗品の交換を実施したところ、恐ろしい事実が判明!

なんと、フロントのディスクブレーキはブレーキパッドが完全に消滅してバックプレートまで削れている状態。いわゆる「電車ブレーキ」状態です。新品のライニングに交換したはずのリアブレーキに関しても、残量は2分の1程度までに減っていました。

よくこの状態で止まることが出来たなあ。次への課題としてブレーキ強化と油温対策をやらなくてはいけないというのがメンバー全員の共通した認識ではあったものの、まさかこんなことになっていたとは... ホント、危ないところでしたよ。

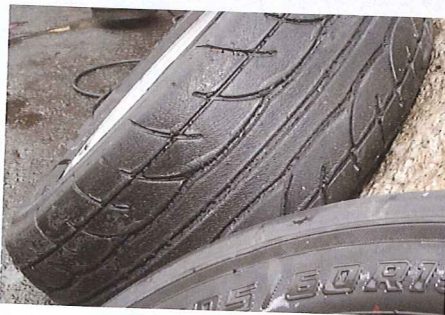
てなわけで、今回の街乗り用へのモディファイ作業は、シートの変更だけで時間切れ。次回は懸案のインパネ交換まで進めることができるかな?

12時間+9分の激走お疲れさま! まずは綺麗にしましょう



全身の汚れを拭き取ったら、いよいよ内部に迫ります。真夏の過酷な12時間を走りきった車両、果たしてどんな状態になっているのでしょうか?

12時間耐久すると こんなになります!



まずはエンジンオイル、ミッションオイルといった油脂類を全部交換。エンジンオイルは汚れてはいましたが、オイルには特に気になるようなもの(金属の粉など)が混ざっているわけでもなく、気になるようなオイル漏れが発生しているわけでもなく、まだまだ頑張ってくれそうな状況でした。タイヤの減りも写真のような状態で、すぐ交換しなければならないという程じゃありません。しかし、ブレーキに関しては予想以上に消耗が激しく、皆驚いてしまいました。フロント側はパッドが完全に消滅してバックプレートで止まっているような状態(でもディスクには大きな傷がない)で、新品に交換したはずのリア側も残量は半分くらいになっていました。



シートを移植!



とりあえず次回レースまで 街乗りしてみます!

次回のレース参戦予定は10月9日に筑波1000で開催されるY's CUPの予定。スプリントと耐久のダブルエントリーを考えている。それまでの期間は街乗りでピンビーを楽しむことにする。



ピンビーのシートはフルバケが一脚だけの状態だったので、とりあえずもう少し街乗りで快適なシートに変更し、助手席側にもシートを取り付けることにしました。BISのストックヤードの中から適当なシートを探していたところ、この緑色のバハバグに装着されていたプロカーシートを発見。それを移植することにしました。実はこのクルマ、元日本唯一のヘビー級プロボクサーであり、その後に総合格闘家に転向した某選手の愛車でした。

